

先週のマーケット動向(6月14日~6月18日)

為替、株式

	Open	High	Low	Close	Chg
USD/KRW	1,116.3	1,133.4	1,114.7	1,132.3	+21.5
JPY/KRW	10.1741	10.2940	10.1420	10.2890	+0.136
KOSPI	3,249.60	3,281.96	3,238.51	3,267.93	+18.61

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は大きく上昇した。14日のドル/ウォンは1,116.3でオープン。この週は16日FOMCを前に、目立った材料なくドル/ウォンは1,110台後半でほとんど動きのない展開。FOMCではFF金利を据え置いたものの、声明文ではワクチン普及によりコロナ禍による景気への影響は減りつつあるとし、前回(4月)より景気回復の進展を示唆。さらにFF金利の見通しを示すドットチャートでは、2023年末までに2回以上の利上げを見込んでいる参加者が19人中6人(前回は2人)ことが示された。これを受け、市場参加者は予想を上回るペースで利上げが進む可能性を意識し米2、3年債利回りは急上昇し、ドル/ウォンも1か月ぶりとなる1,130台まで上昇。17日海外時間には米長期金利低下が反落したことで、市場全体ではドル売りとなったもののドル/ウォンはほとんど変わらず。結局、21.5ウォン高の1,132.3ウォンにてクローズ。

今週の見通し

今週のドル/ウォン相場は上に行っていこの展開を予想。当初予想されていた以上のインフレ進行を背景に、FRBのスタンスはややタカ派なものに変わっており、市場ではリフレトレードの終焉が意識されつつある。これを受け韓国を含む新興国の株式市場や為替市場からは資金が抜けやすい状況が続くことが予想され、ドル/ウォンも週の序盤は底堅く推移するのではなかろうか。一方週後半は、半期末で通常月より大きいことが予想される実需のウォン買いフローも期待できることから、徐々に上値が抑えられる相場を予想する。

予想レンジ

USD/KRW	JPY/KRW	USD/JPY
1120 ~ 1145	10.10 ~ 10.40	109.2 ~ 111.2

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

USD/KRW チャート (Source: Bloomberg)



JPY/KRW チャート (Source: Bloomberg)



今後の予定

- 22日(火) 欧 6月 消費者信頼感指数 一次速報
米 5月 中古住宅販売件数
- 23日(水) 米 6月 サービス業PMI 速報値
欧 6月 サービス業PMI 速報値
米 6月 製造業PMI 速報値
欧 6月 製造業PMI 速報値
米 5月 新築住宅販売件数
- 24日(木) 米 5月 耐久財受注 速報値
米 1Q GDP 確定値
- 25日(金) 米 6月 ミシガン大消費者マインド指数 確報値
米 5月 個人所得
米 5月 個人消費
日 6月 東京都区内CPI